

ank + Sprint



ソフトバンク株式会社

証券コード:9984



株主通信

— 2012年 —

世界インターネットNO.1に向け、
さらなる成長を目指します。

 SoftBank



株主通信 2012年 目次



2 株主の皆さまへ

4 Q&A

6 特集1 | スプリントを子会社化、イー・アクセスを経営統合
ソフトバンクは、世界最大級の
モバイルインターネットカンパニーへ

米国第3位の携帯電話事業者スプリントを子会社化
イー・アクセスを経営統合



10 特集2 | 国内ネットワークをさらに強化
「プラチナバンド」でどこでもつながる、
LTEで快適につながるソフトバンクへ

「プラチナバンド」の進捗状況
次世代高速通信サービス「SoftBank 4G LTE」



12 連結業績ハイライト

14 セグメント別営業概況

16 株主アンケート 結果ご報告

17 会社概要



ソフトバンクは世界第3位の携帯電話事業者へ。 さらなる成長を目指してまいります。

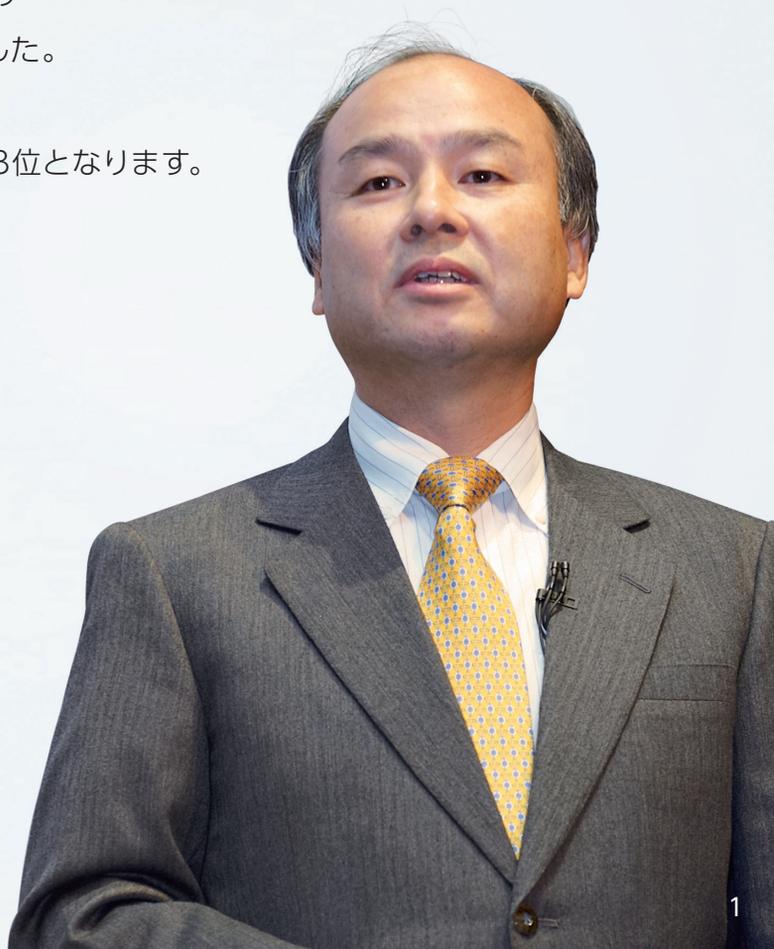
ソフトバンクは、10月1日にイー・アクセスとの経営統合を、
また10月15日には米国第3位の携帯電話事業者である
スプリント・ネクステル・コーポレーションの
子会社化について発表させていただきました。

これらにより、ソフトバンクグループの
移動体通信事業における売上高は世界第3位となります。
ソフトバンクはこれからも、
世界インターネットNO.1に向けて、
さらなる成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、
今後ともご理解とご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。

ソフトバンク株式会社
代表取締役社長

孫正義



株 主 の 皆 へ

ソフトバンクグループは、2012年度上期(4～9月期)も堅調に連結業績を伸ばすことができました。売上高、営業利益、経常利益はいずれも上期における過去最高を更新しました。四半期純利益は減益となりましたが、前年同期の大幅な増益は米国Yahoo! Inc.株式の売却益などを計上していたことによるものであり、その影響を除外したベースでは着実に増加しています。

業績を力強くけん引したのは移動体通信事業です。iPhone(アイフォーン)をはじめとするスマートフォンの販売が堅調で、2012年度上期の

純増契約数[※]は151万件、2012年9月末の累計契約数[※]は3,046万件となりました。



ソフトバンクグループでは、2012年度通期の連結営業利益は7,000億円を確実に上回ると見込んでいるほか、

「売上高、営業利益、経常利益、いずれも過去最高を更新」

2016年度の国内営業利益1兆円を目標に掲げています。これらの目標達成に向けて各事業の業績向上に取り組んでいきます。

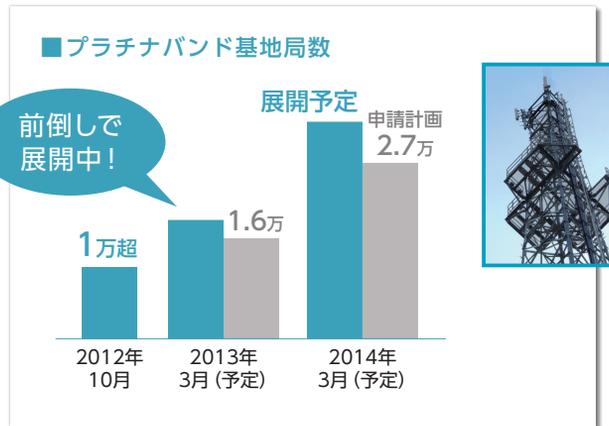
■2012年度上期 連結業績サマリー

| | | | (前年同期比) | | | | (前年同期比) |
|--------|-----------|-----------|---------|----------|---------|-----------|---------|
| □ 売上高 | 1兆5,861億円 | 3期連続 過去最高 | +3.3% | □ 経常利益 | 3,630億円 | 7期連続 過去最高 | +15.4% |
| □ 営業利益 | 4,027億円 | 7期連続 過去最高 | +7.9% | □ 四半期純利益 | 1,694億円 | | -22.0% |

[※]純増契約数、累計契約数には、プリペイド式携帯電話および通信モジュールの契約数が含まれています

「プラチナバンドで、 ネットワークをさらに強化」

ネ ットワークの増強については、2012年7月から「プラチナバンド」と呼ばれる900MHz帯を使用した通信サービスを開始し、10月末時点の基地局数は、1万局を超えました。また、9月21日にはiPhone 5を発売し、iPhone 5において、高速データ通信サービスである「SoftBank 4G LTE」のサービスも開始しました。これからも、どこでもつながる、快適につながるネットワーク作りに取り組んでいきます。



ソ フトバンクでは、2012年12月14日を効力発生日として、同年9月末時点の株主に対し、1株当たり20円の間配当を実施いたしました。当社における初めての中間配当となりましたが、当社はこれからも、株主の皆さまへの利益還元を充実させてまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 1株当たり配当金

中間配当により株主還元を充実!

| | 2011年度 | 2012年度 |
|------|--------|---------|
| 中間配当 | — | 20円 |
| 期末配当 | 40円 | 20円(予想) |
| 年間配当 | 40円 | 40円(予想) |

※ 期末配当については、2013年6月開催予定の定時株主総会で決議されることが条件

Q

&

A

株主の皆さまからのご質問にお答えします。

Q iPhone 5の販売状況は？

A ソフトバンクは、2008年のiPhone 3Gの発売以来、日本において最も多くのiPhoneを販売してきました。iPhone 5は昨年10月発売のiPhone 4S同様、他社からも販売されていますが、iPhone 5は発売時点で過去最多の予約数となっているほか、総販売数のシェアも他社を圧倒しています。また、iPhone 5の販売好調に伴い、

Apple iPhone 5



2012年9月および10月の純増契約数でも引き続きNO.1を獲得しています。

Q 社内ペーパーゼロ宣言の効果は？

A ソフトバンクでは、2012年4月に「社内業務 ペーパーゼロ宣言」を発

表し、社内業務における紙の使用をゼロにする取り組みをスタートさせました。会議や商談の際には、原則的に紙ベースの資料は用いず、約2万人の社員全員に支給しているiPhoneとiPadを活用しています。この取り組みにより、業務が効率化され、コストもダウン。生産性の向上にもつながっています。

効率と
生産性が
アップ！





Q | 自然エネルギー事業への取り組みは？

A | ソフトバンクは2012年7月1日に京都市と群馬県榛東村^{しんとう}において、太陽光発電所の営業運転を開始しました。太陽光発電はこのほかにも徳島県や鳥取県など、全国10カ所、風力発電は1カ所(2012年10月現在)で発電所建設のプロジェクトを進めています。これらを合わせて、全体で200メガワット

以上の発電規模を目指して準備を進めていますが、大規模な発電所についてはプロジェクトファイナンス^{*1}を活用する予定です。また、自然エネルギー事業への出資規模は連結総資産の1%未満となる見込みであり、連結業績へ与える影響もほとんどないと考えています。

^{*1} プロジェクト自体から生じるキャッシュ・フローをもとに行う資金調達のこと

Q | ソフトバンクのスマートフォンは？

A | ソフトバンクではiPhoneだけでなく、AndroidTM(アンドロイド)搭載スマートフォンの拡充にも力を入れています。冬春向けの新商品として発売予定の9機種のうち6機種がスマートフォンで、5機種がAndroid 4.1に対応しています。



また、これらのスマートフォンはすべて、高速データ通信サービス「SoftBank 4G」に対応しており、下り最大76Mbps^{*2}を実現しています。

^{*2} ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。ご利用地域によって、最大通信速度が異なります。対応エリアの詳細についてはソフトバンクホームページ (www.softbank.jp) をご確認ください。・SoftBank 4Gは通信規格としてAXGPを採用しています。・SoftBank 4Gは当初の第3世代移動通信システムに比べて相当水準の改善を提供する技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合 (ITU) の声明に基づき使用しています

ソフトバンクは、 世界最大級^{※1}の モバイルインターネット カンパニーへ

ソフトバンクと米国第3位の携帯電話事業者であるスプリント・ネクステル・コーポレーション(以下、スプリント)は、2012年10月15日、ソフトバンクがスプリントに対して約201億米ドル(約1兆5,709億円^{※2})の投資を行うことについて合意しました。投資総額のうち約121億米ドル(約9,469億円)はスプリントの株主が保有する同社株の買い取りに使用され、残りの80億米ドル(6,240億円)はスプリントの財務体質の強化などに投じられます。この取引は、スプリントの株主、米国における競争法上の承認や監督官庁などの承認を条件とし、2013年半ばに最終的に完了すると見込んでいま



スプリントCEOダン・ヘッセ氏と(2012年10月15日)

す。取引完了によりソフトバンクグループは、取引完了後のスプリント(以下、新スプリント)の70%を保有し子会社化する予定です。また新スプリントは、スプリントの商号を継承するとともに、ニューヨーク証券取引所に上場し、米国における上場会社となる予定です。

この特集では、スプリントの概要などのほか、先般経営統合することを決めた株式会社イー・アクセス(以下、イー・アクセス)について、ご紹介いたします。

※1 Wireless Intelligence、社団法人電気通信事業者協会のデータおよび各社開示資料に基づく。米国は2012年6月末、日本は2012年9月末

※2 1米ドル=78円で換算した試算値(P.6～8掲載の数値は同条件で算出)

1 米国第3位の携帯電話事業者 スプリントを子会社化



スプリントとはどのような会社なのか？

スプリントは、米国第3位の携帯電話事業者で、2012年6月現在、約5,600万の契約数を有しています。携帯電話事業のほか、固定通信事業も行っています。同社の2011年12月期業績は、設備の加速度償却などにより損失計上していますが、業績は回復基調にあります。

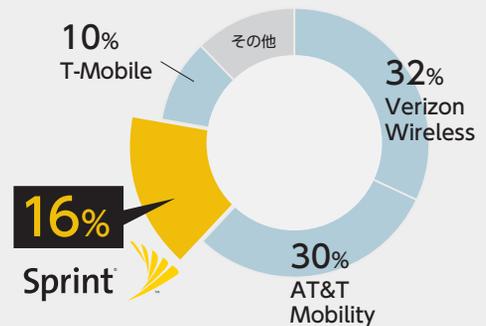
2011年12月期業績

| | |
|---------|-----------------------|
| □ 売上高 | 約2.6兆円 (33,679百万米ドル) |
| □ 営業利益 | 約 84億円 (108百万米ドル) |
| □ 当期純損失 | 約2,250億円 (2,890百万米ドル) |

スプリントを買収した理由は？

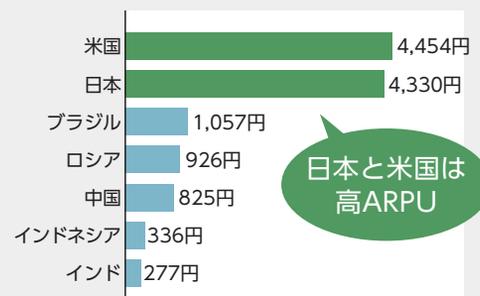
米国の携帯市場は巨大でスマートフォンが急成長しているほか、高ARPU※3、ポストペイド中心と日本の携帯市場に似ています。現在の米国市場は上位2社による寡占市場ですが、ソフトバンクの投資と経営改善ノウハウの提供により、スプリントの事業を拡大させていくことができると見込んでいます。ソフトバンクは米国市場に強固な事業基盤を持つことで、株主価値の向上を目指します。

米国携帯電話契約数シェア



出所: Wireless Intelligence (2012年6月末時点)

累計契約数上位7カ国のARPUランキング



出所: Wireless Intelligence (2012年4～6月期)

※3 ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入

買収によって期待できる効果

ソフトバンクがスプリントに投入する80億米ドル(6,240億円)は、財務体質の強化に充てられます。同社の財務改善により、同社はネットワークの強化と戦略的投資などを行います。このほか、買収によるグループシナジーとして、スマートフォンやネットワーク機器の共同購買によるコスト削減などを見込んでいます。また、日本

SoftBank



におけるスマートフォンやLTE展開の成功例をスプリントに投入することにより、日米両国の市場での事業成長を目指します。

買収資金の調達、配当方針、純有利子負債の削減

スプリントの買収資金は、当社の手元資金と借り入れや社債発行により充当する予定で、エクイティファイナンス(新株や転

換社債等の発行)による調達を行う予定はありません。

また当社は今年度の配当について、1株当たり40円(中間配当20円、期末配当20円)の予想を公表しておりますが、この方針に変更はありません。

スプリントの買収に伴い純有利子負債が一時的に増加しますが、ボーダフォン日本法人買収後と同様、早期削減に努め、財務改善に取り組んでいきます。



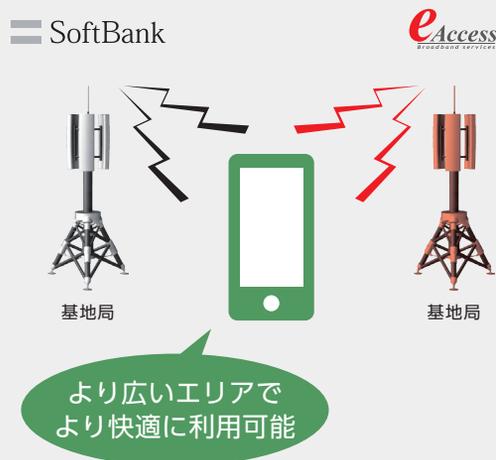
2 イー・アクセスを経営統合



イー・アクセスを経営統合する目的は？

イー・アクセスとの経営統合により、ソフトバンクモバイル、イー・アクセス両社のネットワークの相互活用を行います。これにより、「SoftBank 4G LTE」(→P.11) ユーザーは、イー・アクセスのLTEネットワークが利用可能となります。またイー・アクセスのスマートフォンユーザーは、ソフトバンクモバイルのネットワークを利用して、より広いエリアでご利用いただくことが可能となります。

ネットワークの相互活用



経営統合によって期待できる効果

経営統合により合計3,600億円のシナジーを見込んでいます。内訳として、顧客基盤の強化で2,000億円、ネットワークの共用で1,100億円、その他の経営効率化で500億円を見込んでいます。



イー・アクセスCEO
千本 倅生氏と
(2012年10月1日)

「プラチナバンド」でどこでもつながる、 LTEで快適につながるソフトバンクへ

ソフトバンクモバイルは、2012年7月25日から「プラチナバンド」と呼ばれる900MHz帯を使った通信サービスを開始しました。以前から保有する電波帯と比べて、より効率良く広範囲をカバーできる「プラチナバンド」の特性を活かし、これまで弱点であった「つながりにくさ」を克服し、「どこでもつ

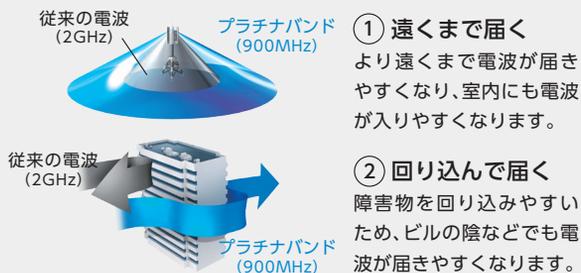
ながるソフトバンク」を目指して、取り組んでいきます。

この特集では、「プラチナバンド」の進捗状況のほか、iPhone 5やiPad miniなどで利用できる次世代高速通信サービス「SoftBank 4G LTE」についてもご紹介します。

「プラチナバンド」の進捗状況

ソフトバンクでは、「プラチナバンド(900MHz帯)」を使用する特定基地局を各地で開設し、対応エリアを順次拡大中です。特定基地局の開設計画では、2012年度に約1万6,000局を設置し、2016年度中には約4万1,000局まで増設、人口カバー率99.9%を予定していますが、開設計画を上回るペースで基地局の建設が進んでいます。

「プラチナバンド」で電波が良くなる2つのポイント



用語解説 プラチナバンド

携帯電話に最適と言われている、700MHz～900MHzの周波数帯域のこと。価値の高い帯域(バンド)という意味で、「プラチナバンド」と呼ばれる。

次世代高速通信サービス「SoftBank 4G LTE」

ソフトバンクは、iPhone 5の発売から次世代高速通信サービス「SoftBank 4G LTE」の提供を開始しました。「SoftBank 4G LTE」は、iPad miniおよび第4世代のiPadにも対応しており、今後対応機種が増加します。

また、「SoftBank 4G LTE」の対応機種は、2013年春(予定)にイー・アクセスがサービス提供する1.7GHz帯の周波数帯も利用可能となる予定で、より広いエリアで、より快適にご利用いただけるようになります。

用語解説 LTE

Long Term Evolution (ロング・ターム・エボリューション) の略。第3世代 (3G) 携帯電話のデータ通信を高速化した、次世代の通信規格。第3世代 (3G) と第4世代 (4G) の中間の技術であるため、3.9G (第3.9世代) とも呼ばれる。

※1 一部エリアに限られます (その他エリア下り最大37.5Mbps※2※3) 詳しくはサービスエリアをご確認ください

※2 ご利用地域によって、最大通信速度が異なります

※3 ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が



iPad mini

SoftBank 4G LTE

2012年9月21日よりスタートしたFDD-LTE方式のサービス。下り最大75Mbps※1※2※3の高速データ通信を実現します。2012年度末、全国実人口カバー率91%※4予定。

低下、または通信できなくなる場合があります。通信速度は端末能力に依存します。また、通信規格により最大通信速度は異なります

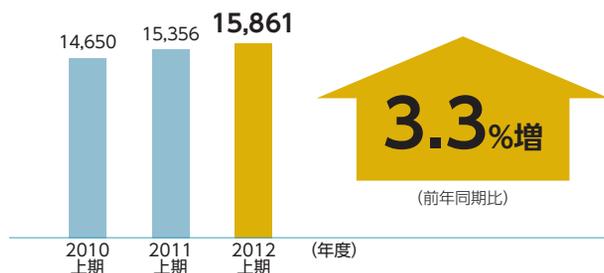
※4 全国を500m四方単位に区分けたメッシュのうち、当社サービスエリアに該当するメッシュに含まれる人口の総人口に対する割合

「SoftBank 4G LTE」は、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合 (ITU) の声明に基づきサービス名称として使用しています

連結業績 ハイライト

売上高、営業利益が上期（4～9月期）の過去最高★を更新。
営業利益が初めて4,000億円を突破しました。

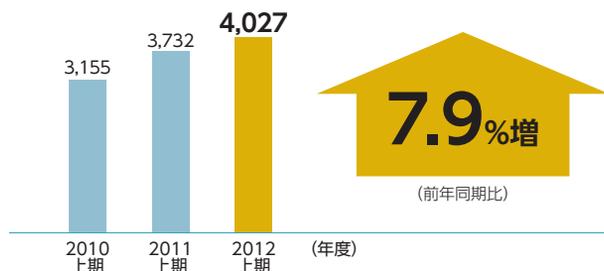
■売上高（単位：億円）



3期連続過去最高★を更新 移動体通信事業が好業績をけん引

売上高は1兆5,861億円となり、前年同期から504億円（3.3%）増加しました。これは主に、携帯電話契約数の順調な増加により、通信料売上が増加したことによるものです。

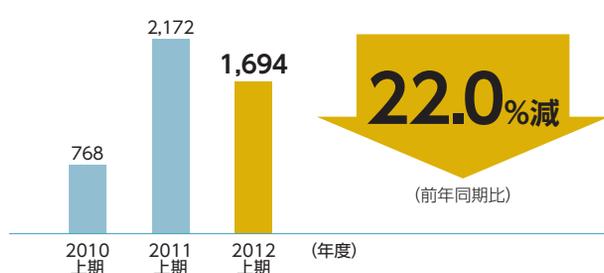
■営業利益（単位：億円）



7期連続最高益★を更新 25%を超える営業利益率に

本業のもうけを示す営業利益は4,027億円となり、前年同期から295億円（7.9%）増加しました。営業利益率は前年同期を1.1ポイント上回る25.4%となり、日米の携帯電話事業者の中でNO.1となりました。

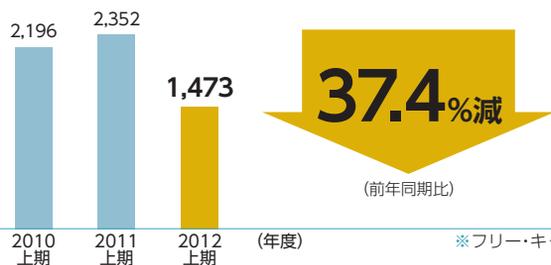
■四半期純利益（単位：億円）



引き続き順調に推移

四半期純利益は1,694億円となり、前年同期から478億円（22.0%）減少しました。前年同期は、米国Yahoo! Inc. 株式の売却益などを特別利益に計上していました。その影響を除外したベースで見た場合、四半期純利益は着実に増加しています。

■フリー・キャッシュ・フロー (単位: 億円)



※フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

1,473億円のプラス

フリー・キャッシュ・フロー※は1,473億円のプラスとなり、前年同期からは878億円の減少となりました。これは、通信関連事業において積極的な設備投資を行ったことと、ヤフー(株)がアスクル(株)株式の42.6% (取得時点の議決権割合) を取得したことによるものです。

■純有利子負債 (単位: 億円)



※純有利子負債=有利子負債-手元流動性

5,838億円まで減少

純有利子負債※は2012年9月末で5,838億円となりました。2011年3月末の1兆2,096億円から順調に減少し、2012年3月末から大幅な変動はなく、低水準が維持されています。

■自己資本 / 自己資本比率 (単位: 億円 / %)



※自己資本比率=自己資本÷総資産

★当社が連結決算を開始した1994年度以降

1兆円を突破 自己資本比率は20.0%に

自己資本は2012年9月末で1兆66億円となりました。自己資本比率※は2012年3月末から0.9ポイント上昇し20.0%となりました。自己資本比率が20%台となるのは2003年12月末以来となります。

セグメント別 営業概況

移動体通信事業、固定通信事業、インターネット・カルチャー事業は
いずれも増収増益を達成しました。

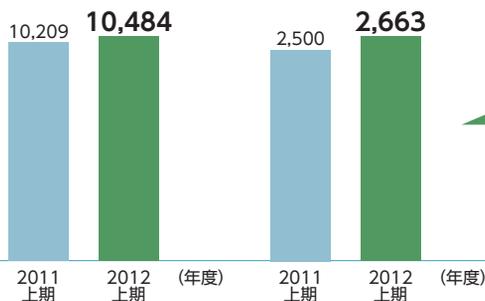


移動体通信事業

- ・携帯電話サービスの提供
- ・携帯端末の販売など

携帯電話契約数の順調な増加に伴い
通信料売上が増加し、増収増益に

□売上高 (単位:億円) □営業利益 (単位:億円)

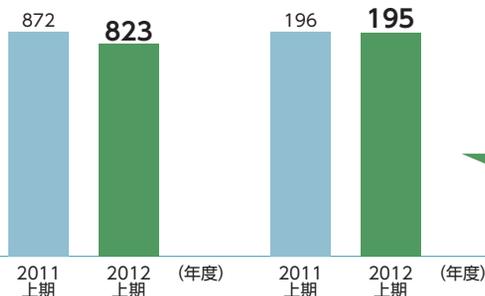


ブロードバンド・ インフラ事業

- ・ADSLサービス、ISPサービス*1の提供
- ・IP電話サービス、無線LANサービスの提供

Yahoo! BBの累計契約数は増加したものの、ARPU*2の低い「Yahoo! BB 光 with フレッツ」の構成比率が上昇したことにより減収減益に

□売上高 (単位:億円) □営業利益 (単位:億円)



※1 NTT東日本およびNTT西日本の光アクセス回線「フレッツ光シリーズ」とセットで提供

※2 ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入



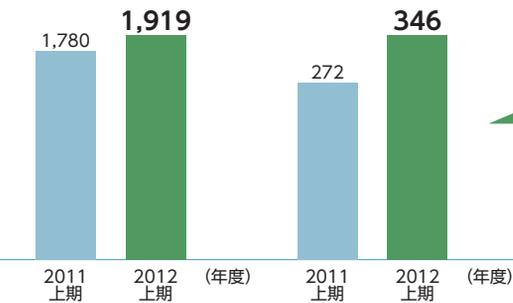
固定通信事業

- ・固定電話サービスの提供
- ・グループ会社への伝送路の貸し出し

電波中継設備の設置業務に係る売上計上やグループ会社への伝送路の貸し出し、「おとくライン」関連設備の支払いリース料減少で増収増益に

□売上高 (単位:億円)

□営業利益 (単位:億円)



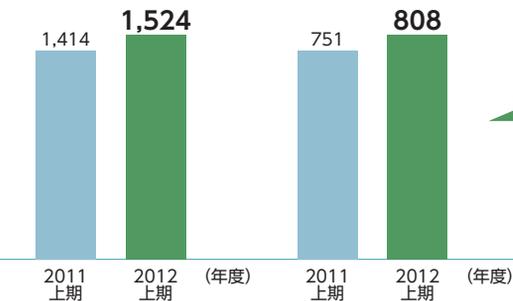
インターネット・カルチャー事業

- ・インターネット上の広告
- ・ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」の運営
- ・「Yahoo!ショッピング」などの電子商取引

インターネット広告が好調で売上が増加。広告宣伝費や業務委託費などのコスト削減で増収増益に

□売上高 (単位:億円)

□営業利益 (単位:億円)

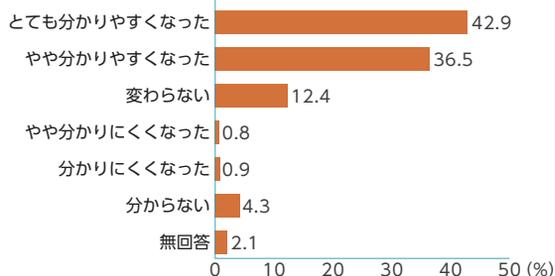


株主アンケート 結果ご報告

「第32回定時株主総会招集ご通知」で実施したアンケート結果の一部をご報告します。お忙しいところご回答いただき、誠にありがとうございました。

アンケート実施期間：2012年6月～9月 有効回答数：15,733件（回答率5.85%）

Q. 株主総会招集ご通知について、従来と比べた印象をお聞かせください。

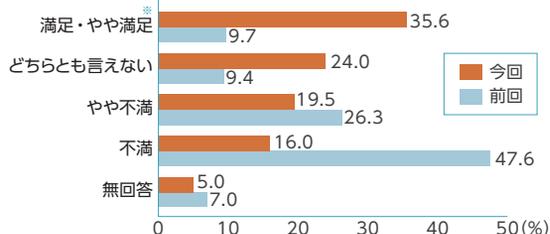


【寄せられたご意見】

- 字が大きくて、高齢者にはありがたい(60代・女性)
- 招集通知にコストをかける必要はない(40代・男性)
- 新事業の計画を知らせてほしい(70代・女性)

株主総会招集ご通知と株主通信を合冊化し、字を大きく、グラフを数多く用いたことへ賛意が多数寄せられました。一方、コスト増を懸念するご意見も。読みやすさの向上と費用削減のバランスを維持してまいります。

Q. 配当について、ご意見をお聞かせください。



*前回のアンケートから回答項目を変更。前回の数値(9.7%)は、非常に満足(2.0%)と満足(7.7%)の回答を合計したものです

【寄せられたご意見】

- 配当は満足、今後も継続してほしい(50代・男性)
- 純利益から見るとまだ十分でない(60代・男性)
- 株主優待をやめて配当を多くしてほしい(70代・女性)

配当金が前年度の8倍となったことで、皆さまの評価は昨年から改善しました。その一方で、引き続き増配、株主優待に関するご意見も多数寄せられています。これからもより適正な株主還元を努めてまいります。

他にもさまざまなご意見をいただいています。

●これからの成長戦略を示してほしい(60代・男性)

ソフトバンクは日米の企業買収・経営統合によって企業規模を拡大、成長していきます。 [詳しくはP.6へ](#)

●プラチナバンドに期待しています(70代・男性)

引き続き通信ネットワークを改善しています。その取り組み状況をご紹介します。 [詳しくはP.10へ](#)

会社概要

(2012年9月末現在)

■ 社名 (商号)

ソフトバンク株式会社
(英文社名) SOFTBANK CORP.

■ 設立年月日

1981 (昭和56) 年9月3日

■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

■ 資本金

221,020百万円

■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株
発行済株式総数 1,114,398,214株

■ 株主数

241,656名

■ 事業内容

純粋持ち株会社

■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

■ 取締役および監査役

□ 代表取締役社長

孫 正義

□ 取締役

宮内 謙

笠井 和彦

ロナルド・フィッシャー Director and President, SOFTBANK Holdings Inc.

ユン・マー Chairman and CEO, Alibaba Group Holding Limited

柳井 正 (社外取締役) 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

マーク・シュワルツ (社外取締役) Vice Chairman, Goldman Sachs Group, Inc.
Chairman, Goldman Sachs Asia Pacific

スニル・バーティ・ミタル (社外取締役) Chairman and Managing Director, Bharti Airtel Limited

□ 常勤監査役

佐野 光生 公認会計士

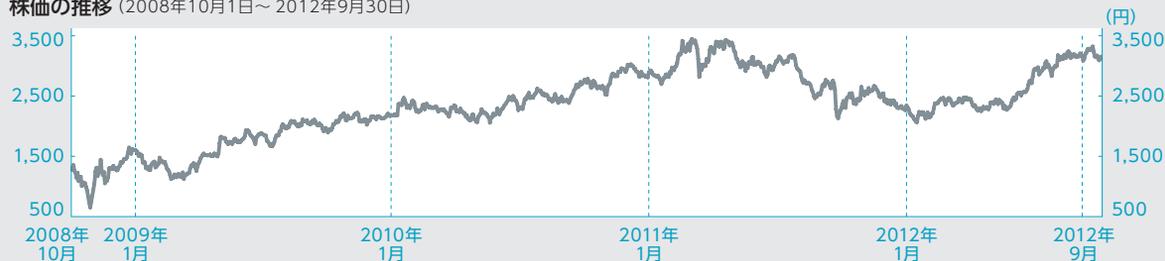
□ 監査役

宇野 総一郎 (社外監査役) 弁護士

柴山 高一 (社外監査役) 公認会計士・税理士

窪川 秀一 (社外監査役) 公認会計士・税理士

株価の推移 (2008年10月1日～2012年9月30日)



【免責事項】本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

●本誌に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
・iPhone、iPad はApple Inc.の商標です。・iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。・Android は、Google Inc.の商標または登録商標です
●本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます

●本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります
●本誌に掲載されているサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります

株主メモ

- 事業年度 …………… 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 …………… 3月31日
- 定時株主総会 …………… 毎年6月
- 上場証券取引所 …………… 東京証券取引所 市場第一部
- 公告の方法 …………… 電子公告により行う
公告掲載URL: www.softbank.co.jp/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

○住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社等に口座を
お持ちの株主さま …… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせ下さい。

特別口座をお持ちの
株主さま …… 下記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)までお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

○未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三菱UFJ信託銀行本支店までお問い合わせ下さい。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11

TEL: 0120-232-711 (通話料無料)



ソフトバンクの
「今」が分かる

冊子の内容についてのより詳しい情報は当社IRサイトでご覧いただけます。

www.softbank.co.jp/ja/irinfo/

ソフトバンクグループの情報を登録いただいたメールアドレスに月1回お届け。

[お申し込みはこちら](#)

www.softbank.co.jp/ja/news/magazine/

ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000 E-mail: sb@softbank.co.jp www.softbank.co.jp

